

2026年度 和泉短期大学 シラバス【児童福祉学科】

授業科目名	災害と保育		教員氏名	吉田久仁子	
科目ナンバー	IV-10-6(IV-10-7)				
学年	1・2年		開講学期	前期	
授業形態	演習		単位数	1単位	
必修・選択	選択		実務経験	幼稚園教諭・保育士	26年
テーマ	福島から考える ー東日本大震災と原子力災害時の保育と福祉を知るー				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			○
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			○
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			○
授業の概要	フィールドワーク(ホープツーリズム):8月末2泊3日で福島を訪れ、東日本大震災・原子力災害伝承館、南相馬市の公私立保育施設(保育・福祉施設など)を見学する。地域の方々との交流などを通して、見て・聞いて・考える				
授業の到達目標	ホープツーリズムを通して、世界初の甚大な複合災害(地震・津波・原発事故・風評)禍で、子どもの命を守り育み保育を紡いできた被災地の保育実践から学び、福島での教訓を「他人事」から「自分事」へと生かす。				
テキスト	授業時に資料配布				
参考書	授業時に資料配布				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				
	その他:				
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験・筆記試験	0	実施しない(授業内評価)		
	授業内課題・発表等	40	発表やリアクションペーパー、まとめなど		
	参加度・学習態度等	60	フィールドワークへの参加及び取り組み状況		
	その他	0	なし		
再試験	行わない	行わない場合の理由	フィールドワークを通して学習の質の向上を図るため		

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション/事前学習① 授業予定、フィールドワークの概要説明	
	授業外学習		55分
第2回	テーマ 内容	事前学習② 福島学の研究者から「福島の現状」について講義を受け、福島県南相馬市の保育・福祉の状況、フィールドワーク(ホープツーリズム)に向けた具体的準備活動をする	
	授業外学習		55分
第3回	テーマ 内容	子どもと防災 被災地の事例を通して	
	授業外学習		55分
第4回	テーマ 内容	保護者と保育者支援の実践 ストレスリダクション法を大学教員などから学ぶ	
	授業外学習		55分
第5回	テーマ 内容	地域をつなぐ連携・協働の実践 被災地の事例を通して	
	授業外学習		55分
第6回～第10回	テーマ 内容	フィールドワーク(ホープツーリズム) 福島県浜通り・南相馬市の視察と保育実習、施設見学	
	授業外学習		55分
第11回	テーマ 内容	まとめ	
	授業外学習		55分
第12・13回	テーマ 内容	事後学習 フィールドワークの振り返りと報告(ポスター発表)の作成	
	授業外学習		55分

課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポートは、次回以降の授業時に口頭やプリントにてフィードバックを行う。